

国際シンポジウム

# グローバル社会における地域再生の意味

International Symposium

“The meaning of Local Regeneration in the Global Society”



Harvard Graduate School of Design  
Hosei University  
Kogakuin University  
Keio University  
Lambiasi + Hayashi Architects  
I-AUD Meiji University

2016年7月26日(火) 19:00-20:30 | 明治大学中野キャンパス 5F ホール  
主催:ハーバードGSD日本ワークショップ実行委員会 共催:明治大学理工学部建築学科

ハーバード大学デザイン大学院のマーク・マリガン教授と国内主要大学の都市・建築系専門の教授を招聘し、グローバルスケールで情報が普及する現代社会における地域再生の意味について、各パネリストが体験した事例紹介をもとに議論を展開する。最終的には、2020東京オリンピックへ向けて、「東京文化資源区構想」をどう収斂させるかを考える。

## 【プログラム】

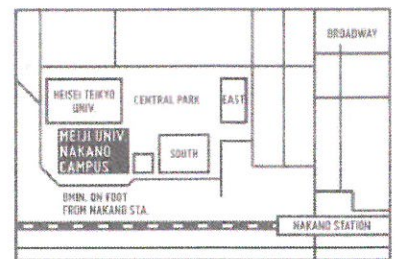
- 19:00 開会
- 19:05 趣旨説明・取り組み紹介
- 19:10 基調講演 | 「国際的な建築・都市デザインとハーバード大学の建築・都市デザインの教育方法」マーク・マリガン(ハーバード大学建築実践コース 准教授)
- 19:30 パネルディスカッション
- 20:30 閉会



マーク・マリガン

## 【パネラー】

- マーク・マリガン | ハーバード大学建築実践コース准教授
- 渡辺真理 | 法政大学デザイン工学部建築学科教授
- 木下庸子 | 工学院大学建築学部建築デザイン学科教授
- 小林博人 | 慶應義塾大学政策・メディア研究科教授
- ジム・ランビアーシ | ランビアーシ&林アーキテクト
- 小林正美 | 明治大学大学院国際プロフェッショナルコース教授
- 佐々木宏幸 | 明治大学大学院国際プロフェッショナルコース准教授



同時開催! Harvard GSD Japan Summer Workshop 2016 公開最終発表会  
DATE:7月30日(土) 14:00-17:00 PLACE: 明治大学中野キャンパス 6F プレゼンスペース

【問合せ】 rui@meiji.ac.jp | 明治大学理工学部助教・泉山巖威